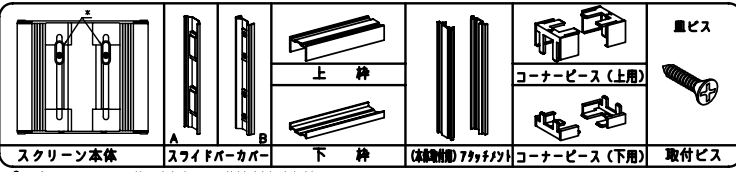


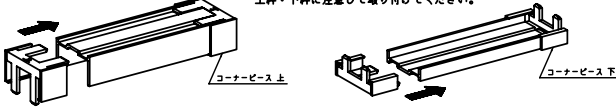
ハニカム・サーモスクリーン障子タイプ 取扱い説明書 (両引きタイプ)

◆部材の確認・・・梱包内の部品の確認してください。



◆部材の取付・・・上枠・下枠にコーナーピースを差し込みます。

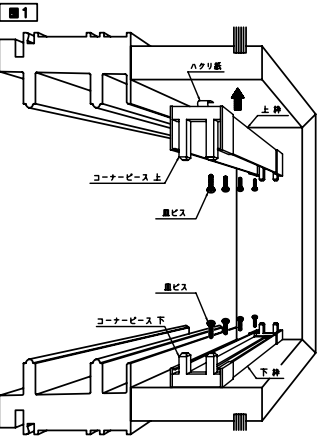
▲ コーナーピースに(上・下)と刻印がありますから上枠・下枠に注意して取り付けてください。



◆部材の取付・・・上枠・下枠・アタッチメントの取付

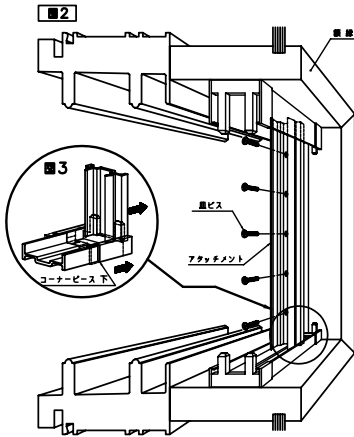
【上枠・下枠取付・・・図1】

1. 上枠の両側テープ糊断紙をはがし裏面に左右均等に仮固定します。
2. 下枠も上枠同様裏面にテープ糊断紙をはがし裏面に左右均等に仮固定します。
3. 仮固定後に、取付ビス(黒ビス)で固定します。

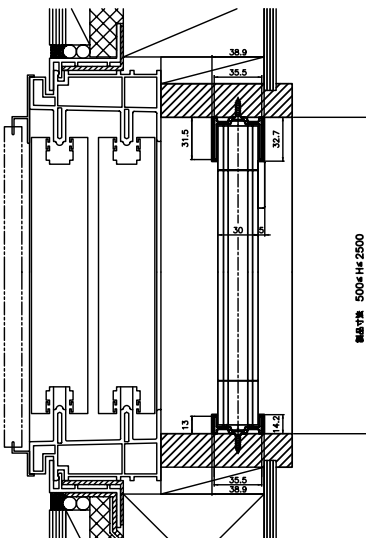


【アタッチメント取付・・・図2】

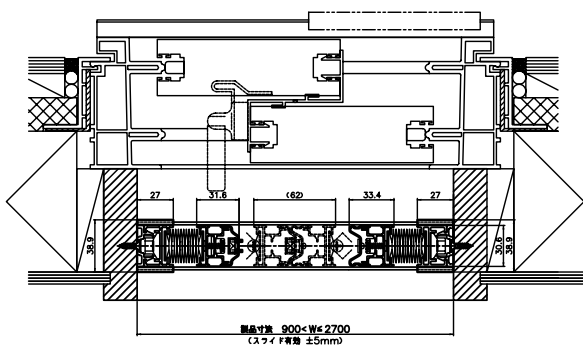
1. アタッチメントの両側テープ糊断紙をはがし、上枠と下枠の間に差し込みます。
2. その際、アタッチメントをコーナーピース(下)の立ち上がりにはがし裏面にずらしません。(図3参照)
3. 裏面へ仮固定した後に、取付ビス(黒ビス)で固定します。



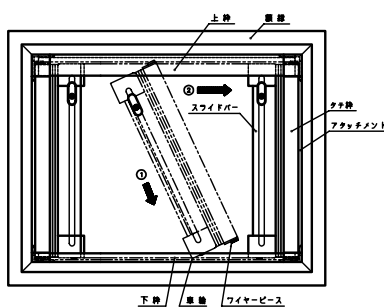
◆納まり参考図・・・横断面図(1/2)



◆納まり参考図・・・横断面図(1/2)



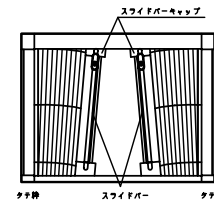
◆スクリーン本体の取付



- ▲ スクリーン本体を取付ける前に確認してください。スライドカバー下部に取付側が付いている方が、下枠側です。
1. スクリーン本体を左側の裏面に上枠と下枠の間に斜めにしながら納めます。
 2. 上枠と下枠に納めた後に、本体を裏面側へ引っ張ります。
 3. 垂直に立てた本体を下枠裏面に斜めながらクランプ部を下枠側からアタッチメントに「バチン」と音がするまで強く押し込んでください。
 - ▲ 本体をアタッチメントに取付ける際に、ワイヤーを挟み込みすぎたり、絡まない様にご注意ください。
 4. 反対側も1~3の要領で取付を行ってください。
 5. スムーズに作動するか確認してください。
- * スライドが動かない、途中で止まる等の場合は、ワイヤーが絡まっているか、どこかに挟まっている事が考えられます。
- ▲ 修理をするなど故障の原因になりますのでご注意ください。その場合は、本体をアタッチメントから外しワイヤーの絡み等を直してから組み直してください。

◆ワイヤーの調整の仕方

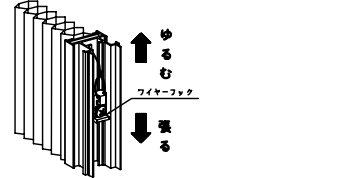
次のような場合は、ワイヤーの調整を行ってください。



▲ 上下両側のワイヤーは、さわらないでください。

1. 両側が重い場合(ワイヤーの張りが強い。) 調整方法: 各ワイヤーを適度にゆるめます。
2. 同じ側が重い場合(ワイヤーの張りが弱い。) 調整方法: 各ワイヤーを適度に張ります。
3. スライドカバーが斜めになってしまう場合 調整方法: 各ワイヤーを一度ゆるめ、スライドカバーをクランプに押しつけて各ワイヤーを再度適正に調整してください。
4. 最後に、スライドカバーをはめ込み後完成です。(輪郭明欠きがある方が、上枠側です。)

▲ スライドカバー部のワイヤー調整は、ワイヤーフックのビスをゆるめてから行ってください。



▲ スライドカバーの形状を確認してカバーの取付をして下さい。スライドカバーの凸面にカバーEを取付けます。スライドカバー-B



* スライドカバーが上枠・下枠から外れる恐れがありますからスライドカバー外れ防止脚を上枠に当たらない位置に取付けてください。

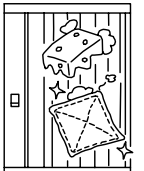
◆製品使用上の注意・・・ご使用前に必ずお読みの上、製品を安全にお使い下さい。

■操作上の注意

- スクリーンを開閉する時は、可動機のミゾ部に手をかけて行って下さい。
- スクリーンがクシャクシャなった場合は、開閉動作を行って戻して下さい。
- 本製品は手動収納式ですが、風などにより一時的に戻りにくい場合があります。そのような時は、スクリーンに手をそえて戻すようにして下さい。
- 強風時には、ご使用にならないで下さい。

■お手入れ方法

- ハケキなどで軽くホコリを取り除いた後、水で濡らせた柔らかい布、又は、スポンジで拭き取って下さい。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤をぬるま湯で溶かして柔らかい布、又はスポンジで拭き取って下さい。必ずカフ拭きして下さい。(酸性・アルカリ性の洗剤は使用しないで下さい。)



- 下枠にホコリやゴミが溜まると、スクリーンがスムーズに開閉しなくなります。掃除機などでこまめに取り除いて下さい。



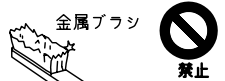
▲ 注意

- スクリーンに寄りかかったり、押ししたりしないで下さい。スクリーンのはずれや落下、転落事故などにつながり、ケガをしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
- 無理な開閉や乱暴な取扱いをすると、スクリーンを破損するばかりでなく思わぬケガの原因になります。開閉操作は、ゆっくり行って下さい。
- スクリーンを開ける際、可動機と錠持に指をはさむとケガの原因となることがあります。お子さまには特にご注意ください。



① お問い合わせ

- 長時間スクリーンを出したままにすると収納性が悪くなります。使用しない時は、こまめに収納するようにして下さい。
- 変色・変質の原因となりますので、お手入れの際には、シンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、酸性・アルカリ性洗剤などは使用しないで下さい。
- クラス、金属ブラシなどで、スクリーン部、枠部をこすらないで下さい。破損やキズの原因になります。
- 犬や猫などのペットが、爪でスクリーンを引っかかないようご注意ください。
- おさまが本製品で遊ばないようご注意ください。
- タバコの火などは絶対にスクリーンにつけないようご注意ください。



◆製品に関するお問い合わせ

セイキ産業株式会社 埼玉県所沢市東所沢5-10-3 〒359-0021
TEL 04-2951-7221 Fax 04-2951-7220